

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

### ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

#### ＜本年度の学力向上基本方針＞

主体的に考え、豊かに伝え合う七里っ子を目指して  
～学習意欲、基礎的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力のバランスのよい育成～

#### ＜本年度の学力向上策＞

- 「アクティブ・ラーニングの視点を生かしたよりよい授業づくり」
- 1 主体的・対話的で深い学びに結び付けられる授業改善、授業力向上
    - ・多面的・多角的に考えられるようになるように、話し合いの仕方や資料の活用の仕方について手立てを講じる。
    - ・自分から学びたいという意欲と見通しをもって学べるように、教材・資料との出会い方の工夫をする。
    - 【「なぜ?」「どうして?」と、いつも質問を考えている児童 70%以上】
    - 【問題の解決に向け、自分一人で考える時間があると感じる児童 70%以上】
    - 【校内授業研究会 3回以上】
  - 2 既習事項を生かし一人ひとりの可能性を伸ばす基礎・基本の定着、学習習慣の徹底
    - ・少人数指導、チーム・ティーチングの効果的な運用と一層の充実化を図る。
    - ・学習・情報、読書センターとして学校図書館の積極的な活用を推進する。
    - ・家庭での学習に生かせる情報を発信し、家庭学習の取組を促進する。
    - 【授業で既習事項の理解を確認する時間があると感じる児童 70%以上】
    - 【学校図書館、学校図書館司書を活用した授業（読書以外）の実施 全学級】
  - 3 安心して学習活動に取り組める学習規律の確立
    - ・児童の指名方法、発問の仕方、板書の工夫、児童中心の授業、教室環境、時間厳守について、共通理解を図って指導の構想を立て実践する。
    - ・挙手の仕方、発言後の対応、語尾、表現力の育成、話し方・聞き方、ノートの使い方について、全学級で統一した指導を反復して行う。
    - 【クラスのみんが授業に集中していると感じる児童 70%以上】
    - 【話すときと聞くときのけじめをつけられている児童 70%以上】

#### ＜本年度の振り返り＞

- 1 ○「なぜ?」「どうして?」と、いつも質問を考えている児童、問題の解決に向け、自分一人で考える時間があると感じる児童が全学年70%以上となり、主体的・対話的で深い学びに結び付けられる授業づくりが進んでいる。
- 2 ○少人数指導、チーム・ティーチングを運用し、個別指導を組織的に行えた。
  - ▲授業で既習事項の理解を確認する時間があると感じる児童70%以上の目標に2%足りなかった。家庭学習の習慣化に課題が見られるので、家庭学習を促進するために粘り強く指導を重ね、家庭にも家庭学習に生かせる情報を発信していく。
- 3 ○研修により学習活動に工夫をもたせた指導の構想を立てて実践することができた。
  - ▲授業の集中やけじめに課題が見られ、小・中学校9年間を見据えて指導していく。